



首都圏の暮らしを支える海の玄関
水と緑 人をつなげるベイエリア
未来に向かい 進化する東京港

平成19年8月20日
港 湾 局

お台場海浜公園で「カキの水質浄化実験」を行います

お台場の海を、カキやナマコ、アマモなどできれいにします！

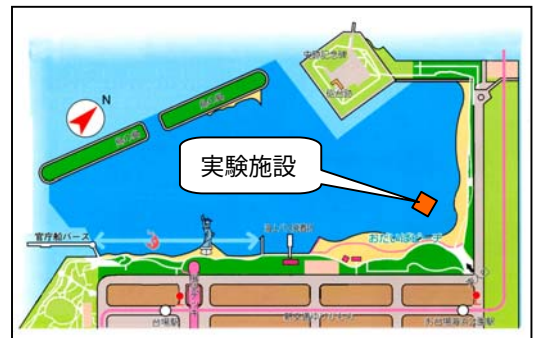
1個のカキが1日にろ過する海水は約400ℓと言われています。そのカキを使って、東京の海をきれいにする取り組みを始めます。その他、ナマコ、アマモ、アオサといった多様な生物、植物の複合的な作用によって、多くの魚が泳ぐ姿が見られるような、きれいな海への再生を目指します。

東京湾における初の試みです！

海は本来、水生生物等の活動により自然に浄化される機能を持っています。しかしながら、東京湾においては背後圏の人口が多いため水質への負荷が大きく、本来海の持つ自然浄化能力が十分に発揮されていません。

私たちが有り余る栄養分を海に流しているのですから、その栄養分を摂取する生物を私たちの手で増やす努力をし、海域浄化の本来の姿である「自然浄化」へと誘導する。

このような視点の実験は、東京湾において初めての試みです。



実験場所：お台場海浜公園内

イベント開催！

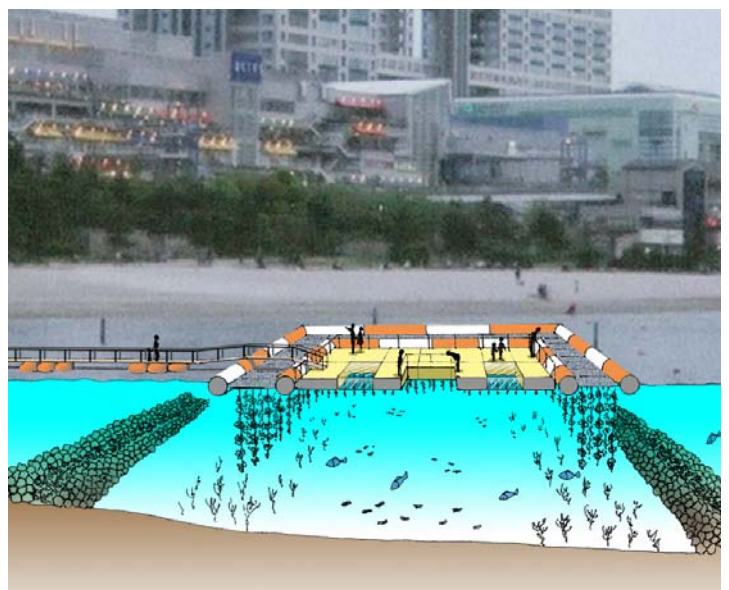
実験施設の様々なパーツを都民と一緒に作成するイベントを、下記のとおり開催します。

あわせて、魚のタッチプールやカヌーからの海の観察などお台場の海の自然体験、また東京港の環境整備事業紹介等を行います。是非ご参加ください。

◆日時：8月28日(火) 10時～16時

◆場所：お台場海浜公園おだいばビーチ

※詳しくは別添資料をご参照ください。



実験施設イメージ図

みんなで
作ろう！

環境にやさしい東京港

～イベント開催のお知らせ～

日時 平成 19 年 8 月 28 日 (火) 10 時～16 時まで

場所 お台場海浜公園おだいばビーチ

みなさん是非ご参加ください (濡れても汚れても良い服装でお越しください)

カキの実験施設をみんなで作ろう！

カキのカーテンを作ろう

カキは水中の植物プランクトンなどを食べ、海の水を透明にします。みんなで「カキのカーテン」を作って、お台場の海をきれいにしましょう。



カキいかだを作ろう

カキの養殖に従事している方をお招きし、カキのカーテンを吊るす「カキいかだ」を作ってもらいます。実演をみながら、お手伝いをしましょう。



アマモを植えよう

海の自然再生のシンボル「アマモ」をみんなの手で植えましょう。アマモは水をきれいにし、たくさんの生物の棲みかになります。

カキ殻で魚の棲みかを作ろう

カキの殻を棲みかにし、海の色々な生き物が生息します。色々な生き物が住むと、海の自然浄化機能が高まります。

お台場の海を見てみよう！

お台場の魚たちを見てみよう 触ってみよう

お台場海浜公園にいる魚やカニ、エビ等の生き物のタッチプールで、お台場の海の自然のを感じてください。



お台場の海を覗いてみよう

カヌーを使って実験水域まで行き、お台場の海を覗いてみてください。

一年後には、どう変わっているかな？



東京港の環境整備事業をご紹介します！

東京港における環境改善に向けた様々な事業をご紹介します。

海浜・磯浜・干潟、親水性護岸、生物が生息しやすい護岸、新海面処分場、運河ルネッサンス等



タイムスケジュール

	カキの実験施設を作ろう	お台場の海を見てみよう	環境整備 PR
	◆カキいかだ製作実演 ◆アマモを植えよう	◆タッチプール ◆カヌー体験	◆パネル展示
10:00			
11:00	◆カキのカーテンを作ろう ◆カキ殻マウンドを作ろう		
12:00			
13:00			
14:00	◆海上設置		
15:00	完成したカキいかだを海に浮かべます		
16:00	終	了	

<イベント協力> いであ(株)、NPO海塾、神奈川県水産課・水産技術センター、金沢八景-東京湾アマモ場再生会議、新日本環境調査(株) (財)東京港埠頭公社、東京都島しょ農林水産総合センター、(有)長石商店、宮城県保健環境センター (アイワイ順)

お台場海浜公園におけるカキの水質浄化実験

お台場海浜公園でカキやアマモ等、
水生生物・植物を使った水質浄化の実験をします



実験場所: お台場海浜公園内

海は本来、水生生物等の活動により自然に浄化される機能を持っています。しかしながら、東京港においては背後圏の人口が多いため水質への負荷が大きく、また天然の海岸線が残っていないことなどにより、本来海の持つ自然浄化能力が十分に発揮されていません。私たちが有り余る栄養分を

海に流しているのですから、その栄養分を摂取する生物を私たちの手で増やす努力をし、海域浄化の本来の姿である「自然浄化」へと誘導することが今回の取り組みの目的です。

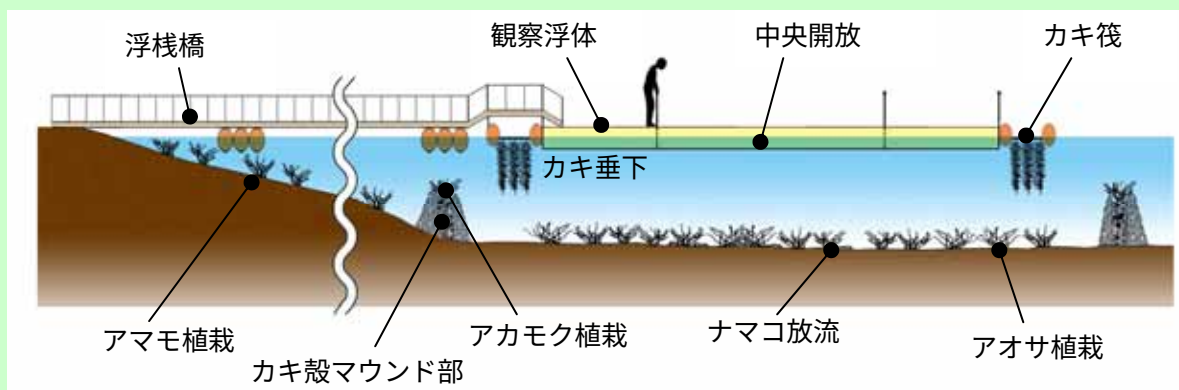
カキは、海中の植物プランクトン等を摂取し、海水を浄化します。1個のカキが1日にろ過する海水は約400ℓとされています※1。カキ以外にも、ナマコなど底生生物による有機物の摂取やアマモやアオサといった水生植物による光合成の促進、微生物による分解作用など、生態系や食物連鎖を考慮した物質循環の観点を取り入れています。多様な生物、植物による水質浄化の効果が発揮されることを期待すると同時に、生態系や自然ピラミッドのバランスを維持し、持続可能なシステムを構築することを目標としています。

※1 水産庁パンフレット「里海づくり」より



実験施設イメージ図

実験施設断面イメージ図



(お問い合わせ先)

東京都港湾局港湾整備部計画課 TEL 03-5320-5613 FAX 03-5388-1578